



保健師職能委員長より

松波 実智誉

今年度6月から、新たなメンバーによる委員会活動が始まりました。メンバーの所属は、地域包括支援センター2名、病院健診・健康管理センター3名、病院1名、委員長の合計7名です。今年度、委員会では、保健師活動の魅力発信について取り組みます。そこで、県内5圏域で行う看護の日のイベントに職能委員も参加し、自治体の保健師さんの協力も得て、高校生や看護学生さんたちに保健師のことも知ってもらえるようにPRをしていきたいと考えています。委員会では、様々な職場での保健師活動の面白さ、やりがいについて、たくさん語られます。これを可視化して、保健師の仕事や魅力をわかりやすくしていく予定です。

今年度の看護の日のイベントでは、減塩対策を呼びかけています。その中で、保健師は、予防の視点を持ち、会話を通してその人の生活の場を想像しながら支援し、生活習慣の改善に導いていることを伝えています。目には見えない技をもつ保健師活動の魅力をお見せできるようにこの1年頑張っていこうと思っています。委員会活動は保健師の魅力を出し合える場でとても雰囲気がいいです。このような委員会活動ですが、ぜひ今後とも関心を持っていただき、ご意見などいただけるととてもありがたいです。また皆さんが委員会活動に興味、関心をもっていただくことに感謝します。



保健師の活躍場所はたくさんあります。

保健師職能委員の自己紹介・保健師活動の魅力

保健師職能委員は2年目となります。現在、地域包括支援センターにて保健師として勤務しており、主に高齢者の介護予防支援に携わっています。高齢化が進み、医療・福祉のみならず、地域組織・民生委員等の様々な関係者と連携した活動が求められる中で、保健師の専門性を活かした支援がますます求められている事を実感しています。

職能委員の活動を通して、自身も学びを深めるとともに、魅力発信や次世代の人材育成に尽力できればと思います。

関市中央第2地域包括支援センター 齋藤 由記



私は、地域包括支援センターに従事する保健師です。センターの主たる事業となる高齢者総合相談支援のほか、保健医療の専門職としてご高齢者の心身の健康に関する相談対応以外にも、ご高齢者が集うサロンなどを訪問し健康講話を行ったり、個別訪問を通じて必要な方を介護予防事業等へ繋げたりもしています。専門性を生かし**地域のご高齢者が住み慣れた地域で健康的に自分らしく過ごされていることが**、私のモチベーションにつながっています。

岩砂病院・岩砂マタニティ 木下 理恵

病棟での看護師経験を経て、現在は高山市の中核病院にある健診センターで保健師として勤務しています。飛騨地域における健診機関として住民健診、事業所健診、人間ドック、特定保健指導などを行っています。まだまだ学ぶことの多い毎日ですが、日々地域の皆様の健康のために取り組んでいます。保健師職能委員会ではメンバーとして**魅力発信や人材確保、育成のために少しでも力になれるよう頑張りたい**と思います。

飛騨医療センター 久美愛厚生病院 藤木 麻央

保健師職能委員は3年目になります。現在、病院併設の健康管理センターに勤務しています。病院は、令和8年2月に土岐市立総合病院と統合されて、東濃中部医療センターとして稼働する予定です。

現在の仕事の魅力は、特定保健指導や受診勧奨により受診者の行動変容が変わり、健康維持増進に取り組まれる姿が見られることだと思います。**共に考え共感し、自分の心と体に向き合っただけ**のような関わりを常に心がけております。

東濃厚生病院 健康管理センター 近田 さおり

私は病院で看護師として勤務していましたが、特定保健指導が義務化されたことを受けて、現在は保健師として院内の健診センターで、健康診断及びその結果に基づき、生活習慣病を予防する指導を行っています。異常を発見した際には、**重症化しないように健康管理に繋がるための体制を整えています**。また、職場の衛生管理者として、職員の健康と安全を守る活動もしています。同施設には外来や集中治療室で活躍している保健師もいます。今年度は、保健師職能委員会メンバーとして、**予防医療の重要性**に携わる保健師としての魅力を伝えたいです。

大垣徳洲会病院 近藤 里美

私は病棟看護師として働いていますが、2年前まで入退院センターで勤務し、退院調整にも携わりました。社会的背景の脆弱な方や医療依存度の高い方も多く、行政や包括で働く看護師、保健師とのやり取りも欠かせないものでした。現在在院日数の短縮に伴い病棟看護師としても**早期からの退院調整は必須**となってきており、その時の経験がとても役立っていると感じます。これからの活動で保健師の専門性について発信し、**お互いの専門性を活かした連携**ができること、またこれから保健師を目指す若い世代の方たちに魅力を感じていただけることを期待しています。

松波総合病院 前田 智恵子



四職能* 合同研修会

看護協会の入会有無
関係なく参加できます。

テーマ：専門・認定看護師の役割と地域との連携について考える

日時：令和7年11月8日（土）午後1時30分～午後3時30分

Zoom 研修

| | |
|----------------|--------|
| 講師：精神看護専門看護師 | 木野 徳磨氏 |
| 糖尿病看護認定看護師 | 三好 徹氏 |
| 訪問看護認定看護師 | 山田 剛司氏 |
| 皮膚・排泄ケア認定看護師 | 桃瀬 尚子氏 |
| 摂食・嚥下障害看護認定看護師 | 伊丹 和美氏 |

内容：講義、グループワーク

* 保健師職能、助産師職能、看護師職能Ⅰ（病院領域）、看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）

看護職間で、地域
での活動の実際を
学び合いましょう！



事例検討会のおすすめ

昨年度、「人材育成を目指した事例検討会」の研修を保健師職能委員会で行いました。

そこでは、モデル事例検討として保健師職能委員がモデルとなり、テーマ『市営住宅で暮らす高齢の母（要支援2）とアルコール依存症の長男』で行いました。

講師（岡山県立大学保健福祉学部看護学科 大学院保健福祉学研究科看護学専攻 森永 裕美子教授）より、アセスメントの視点において保健師は、心理的側面、社会的側面、本人・家族の希望については捉えることができるが、**フィジカルアセスメントが抜けてしまいやすい**と指導があり、その点を意識して事例検討を行いました。皆さんの職場ではいかがでしょうか？

事例検討の研修後、委員の一人は、地域ケア会議で、事例検討の進行前のグランドルールを確認しあうようになったということです。職場で、何か一つチャレンジできそうなことから始めてみませんか！

研修会では、

日本看護協会 令和3年3月発行「個別課題解決から地域課題解決につなげる！

複雑かつ多重課題事例を支援する事例検討会の手引」を使用しました。是非ご活用ください。

日本看護協会ホームページからでも入手できます。



情報提供コーナー

各自治体に日本看護協会から届けられています。

『自治体保健師と地域の看護職の連携・協働による地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり』日本看護協会健康政策部保健師課作成（2024年11月）

<主な内容>

- ・外来看護機能の強化
- ・地域における看護活動の場・機会の拡充
- ・ライフステージや健康レベルに応じて、切れ目のない健康・療養支援体制を構築するために、地域の看護職同士がつながることを“当たり前”にする
- ・自治体保健師は、地域の仕組みをつくるコーディネーター役を求められる
- ・仕組みづくりは関係機関との健康課題とビジョンの共有から
⇒ 地域にあったやり方で進める



↓
看護のセーフティネットで重症化を予防し誰一人取り残さない地域の健康づくりを実現
岐阜県看護協会では、四職能委員長会で、冊子を読み解き今後の取組みを検討します。

物事をこんな視点で見よう



鳥の目
(全体をみる)



虫の目
(細部をみる)



魚の目
(流れをみる)



コウモリの目
(反対をみる)

職能委員からのメッセージ

岐阜県看護協会に入会して、一緒に活動、交流しませんか

日々の業務で困っていることはありませんか？ 誰かに相談できていますか？

幅広く考える仲間と語り合い、専門性の維持向上に向けて活動する

それが職能団体の活動です。 みんなで保健師活動の魅力発信していきましょう！

公益社団法人 岐阜県看護協会

〒 500-8384 岐阜市藪田南 5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館 1 棟 5 階

TEL 058-277-1008 ホームページ <https://gifu-kango.or.jp>